



\*本リリースは 10 月 12 日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2023 年 10 月 13 日

## デルタ航空、2023 年第 3 四半期の業績を発表

- 前年比 30%以上の収益増で、第 3 四半期としては最高益を達成
- 調整済みの通年収益予測は前年比 20%増で、2 桁の営業利益率の見込み
- 通年の調整済み EPS は 6.00~6.25 ドル、フリーキャッシュフローは 20 億ドルの見込み
- バランスシートも投資グレード指標達成に向けて改善しつつあり、S&P の格付けも BB+にアップ

【米国アトランタ、2023 年 10 月 12 日】 – デルタ航空（NYSE:DAL）は米国時間 10 月 12 日、9 月を期末とする 2023 年第 3 四半期の業績と 2023 年第 4 四半期の業績予測を発表しました。GAAP 基準および調整済みの結果を含む、デルタ航空の第 3 四半期の業績を 5 ページに記載いたします。概要は以下のとおりです。

デルタ航空の最高経営責任者、エド・バステアン（Ed Bastian）は次のように述べています。「チーム全員の素晴らしい働きにより、デルタ航空は第 3 四半期として最高の収益と 2 桁の営業利益率を達成することができました。従業員のおかげで運航の信頼性も引き続き向上しています。従業員への感謝の気持ちを表すため、年初以来 10 億ドルを超えるプロフィットシェアリング（利益分配）用資金を計上いたしました。デルタ航空は信頼できるコンシューマブランドとして引き続きリーダーシップを発揮し、業界で最も優れた人材による温かく、心のこもった質の高いサービスを提供してまいります。他社との差別化により、通年の収益予測は前年比 20%増、税引前収益は 50 億ドルと、前年比で 2 倍近い伸びを見込んでいます。」

### 2023 年第 3 四半期（7 月～9 月期）の GAAP 業績結果

- 営業収益は 155 億ドル
- 営業利益は 20 億ドル、営業利益率は 12.8%
- 税引前営業利益は 15 億ドル、税引前営業利益率は 9.8%
- 1 株当たりの利益は 1.72 ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは 11 億ドル
- 負債とファイナンスリースの債務支払い合計は 7 億 2400 万ドル
- 四半期末の負債とファイナンスリースの債務合計は 195 億ドル

### 2023 年第 3 四半期（7 月～9 月期）の調整済み業績結果

- 営業収益は 146 億ドルで前年同期比 13%増加
- 営業利益は 20 億ドル、営業利益率は 13.5%
- 税引前営業利益は 17 億ドル、税引前営業利益率は 11.8%
- 1 株当たりの利益は 2.03 ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは 11 億ドル
- 四半期末の調整済み純負債は 202 億ドル

## 2023年第4四半期（10月～12月期）と通年の業績予測<sup>1</sup>

	2023年第4四半期予測	2023年通年予測
収益合計、前年比	+9% - 12%	最大 20%増
営業利益率	9% - 11%	最大 11.5%
1株当たり利益	\$1.05 - \$1.30	\$6.00 - \$6.25

<sup>1</sup> 非 GAAP 指標; 比較値は非 GAAP 調整を参照

財務モデルの追加指標は [ir.delta.com](http://ir.delta.com) に掲載された四半期業績の補足情報部分をご参照ください。

### 収益環境と予測

デルタ航空の社長、グレン・ホーエンスタイン（Glen Hauenstein）は次のように述べています。「第3四半期は過去最高の収益を達成し、2022年同期比で13%増となりました。これにより第3四半期の単位収益（ユニットレベニュー）は、業界最高となる見込みです。これはデルタ航空の多様な収益源と強いブランド力によるものです。デルタ航空便に対する高い需要は第4四半期まで続き、前年同期比で収益合計が9～12%増加する見込みです。なお単位収益合計（TRASM）は2.5～4.5%減少する見込みです。これにより米国内線および大西洋路線については前年比で第3四半期の傾向と変わりませんが、太平洋路線および中南米路線の単位収益については、中国便の再開やラタム航空との共同事業（ジョイントベンチャー）への投資によってやや鈍化する見込みです。」

- **デルタ航空便の需要は引き続き堅調**：第3四半期の単位収益は予測値の最高値を達成しました。調整済み単位収益合計（TRASM）は前年比で2.5%減少しました。これには貨物とMROによるマイナス分が約1.0ポイント含まれています。旅客単位収益（PRASM）は前年比で1.5%減少しました。
- **米国内線需要は堅調**：2022年に比べて旅客量が11%増加した中、国内旅客収益は6%増加しました。国内単位収益は前年比で4%の減少でした。ボストンとニューヨークでの需要増により、海岸沿いのハブロードファクターが前年と比べて増加しました。企業がオフィスでの業務を再開する中、出張での利用も引き続き増加しています。最近の企業向け調査結果によると、大半の企業が2023年第4四半期中および2024年にかけて、出張の数が同程度または増加すると回答しています。
- **国際線需要は秋以降も好調**：第3四半期中の国際線の旅客収益は前年比で35%増加し、あらゆる地域で最高の営業利益率を達成しました。大西洋路線の収益は34%増加し、デルタ航空史上最多の便数で最高のPRASMを達成しました。ラテンアメリカ路線の収益は前年比で20%増加しました。LATAM JVへの投資により接続性と相乗効果が高まり、南米での需要が高まったためです。今年は3路線すべての国際線で素晴らしい業績が達成できると確信しています。
- **収益源の多様化を継続**：プレミアムプロダクトやロイヤルティ、貨物、MROなどの多様な収益源が年初来収益合計の55%を占めています。プレミアムプロダクトの収益は前年比17%増でメインキャビンの収益よりも5ポイント高く、提携クレジットカードの新規会員と利用額の増加によりロイヤルティの収益も17%増加しています。第3四半期中のアメリカンエクスプレスからの収益は17億ドルで、前年同期比で約20%増加しました。

### コストパフォーマンスと予測

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「第4四半期については、燃料以外の単位費用は前年比で同程度～2%増と予測しています。人材や運航の信頼性への投資を継続しながらスケールメリットと効率向上を実現します。効率化を図りながら卓越した運航を提供することが、引き続き最優先事項となります。」

## 2023 年第 3 四半期のコストパフォーマンス

- 営業経費は 135 億ドル、調整済み営業経費合計は 126 億ドル
- 燃料を除く調整済み経費は 92 億ドル
- 燃料以外の CASM は前年比で 1.3%増加
- 調整済みの燃料費は 30 億ドル、前年比で 10%減少
- 精油所による利益分 11 セントを含む 1 ガロン当たり調整済み燃料費は 2.78 ドルで、前年比で 21%減少
- 1,000 ASM 当たりのガロン数として定義される燃料効率は 14.5 で、前年比で 1.7%改善

## バランスシート、キャッシュと流動性

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「昨年末には 5 倍だったレバレッジが第 3 四半期には 3 倍に低下しました。今後も引き続き財務基盤の強化を行ってまいります。今年初めから合計で 37 億ドルの債務を返済し、年内に合計 40 億ドル以上を返済する見込みです。バランスシートの改善により、8 月には S&P の格付けが BB+にアップグレードされました。」

- 第 3 四半期末時点の調整済み正味負債額は 202 億ドルで、2022 年末から 21 億ドル減少
- 第 3 四半期中の負債とファイナンスリースの債務支払い合計は 7 億 2400 万ドル。これには償還分の 4 億 2400 万ドルと平均利率が 8%の償還前債券買戻し分 3 億ドルが含まれています。
- 加重平均利率は 4.5%で 89%が固定金利の負債、11%が変動金利の負債
- 調整済みの営業活動によるキャッシュフローは 11 億ドルで、総資本支出が 14 億ドル、フリーキャッシュフローはマイナス 2 億 5000 万ドル
- 第 3 四半期末のエアトラフィックライアビリティは 87 億ドルで、第 2 四半期末から連続で 10 数億ドル減少。これはパンデミック前と同様の季節的要因による。
- 第 3 四半期末の流動性資産\*は 78 億ドル（リボルビング与信枠残高 28 億ドルを含む）

\*現金と現金同等物、短期投資およびリボルビング与信枠残高を含む

## 2023 年第 3 四半期のその他概要

### 運航、ネットワークと機材

- 第 3 四半期中の 7 月から 9 月まで、他社よりも高い定時運航率を達成しました。<sup>1</sup>
- 今年に入って現在までに A321neo、A220-300、A330-900 を含む 28 機の航空機を導入しました。
- 中南米およびカリブ海路線において、35,000 席増というデルタ航空史上最多の冬季運航予定を発表しました。
- アエロメヒコ航空との提携により、2024 年 1 月からデルタ航空のコードシェア便でメキシコの 7 つの空港から米国の 9 拠点向けに 17 の新規路線を就航する予定です。
- 2023 年 12 月に 2010 年以来初となるキュラソー島へのノンストップ便を再開すると発表しました。
- 2024 年夏からデルタ航空はニューヨーク JFK 空港からナポリ（イタリア）とミュンヘン（ドイツ）への新規路線を追加し、人気の高いヨーロッパの拠点と結ぶことで大西洋路線をさらに強固なものにします。
- 2024 年 5 月からミネアポリスとダブリンを結ぶ新規路線を就航すると発表しました。ニューヨーク JFK - ダブリン間の通年運航に加え、ダブリン行きの季節運航便は 3 つ目となります。

### 企業カルチャーと人材

- 第 3 四半期中に来年のプロフィットシェアリング支払い分として 4 億 1700 万ドルを計上しました。年初来の合計は 10 億ドル以上となり、2024 年 2 月にデルタ航空の従業員に対して支払われる予定です。
- デルタ航空は USA Today の読者から 2023 年のベストエアラインに選ばれました。定時運航、豊富な路線、マイルージプログラム、米国全土での魅力的なラウンジがその理由です。
- タイム誌による 2023 年世界で最も優れた企業（World's Best Companies of 2023）で第 12 位に選ばれました。収益増、従業員満足度、サステナビリティへの取り組みが評価されたものです。
- コンデナストラベラー誌の読者により米国のトップエアラインに選出されました。高品質な機内サービス、空港設備、チェックインや搭乗手続きでのハイテク技術が評価されました。
- フォーブス誌による女性が働きやすい企業のランキングでエアラインとしては最高の 13 位に選ばれました。

- Great Place To Work により、最も優れた雇用主として選ばれました。今回で 5 年連続の選出です。
- 6 年連続で米国赤十字社から法人献血活動のトップスポンサーとして認められました。
- ハワイの山火事被害の救済金として米国赤十字社に 25 万ドルを寄付しました。
- 200 人以上のデルタ航空従業員が、9.11 同時多発テロで愛する人を失った人々が結成した組織、9/11 Day と連携し、満足に食事ができていない人々に食事を提供しました。
- 世界中の学生 400 人分のサマーキャンプの奨学金を提供しました。ナショナル・フライト・アカデミーとの連携により、世界最大のシミュレーション航空機内で操縦体験を行いました。

#### カスタマーエクスペリエンスとロイヤルティ

- Certares Management LLC、Knighthood Capital Management LLC などと共にプライベートジェットの会社 Wheels Up への戦略的投資を行うことを発表しました。デルタ航空の専門知識、旅行やツーリズムに関する Certares の専門知識、さらにはターンアラウンドおよび再編に関する Knighthood の専門知識を統合します。
- スカイマイルプログラムが、U.S. News & World Report が選ぶベスト・トラベルリワードプログラムの 1 つに 7 年連続で選ばれ、全世界の航空会社の中でトップのランキングを獲得しました。
- 高速無料 Wi-Fi が 615 の国内主要路線機内でご利用いただけるようになりました。これは全世界で最多の Wi-Fi 対応機体数です。
- 第 3 四半期中に一部の A321 機で Delta Sync を使った機内エンターテインメントの提供を開始しました。今後は A321 にも拡大し、数か月以内に 757、738、A320、A319 にも導入予定です。
- デルタ航空は 2023 年中に新たに 5 つのデルタスカイクラブを開設しました（第 3 四半期中の 2 か所を含む）。また既存のスカイクラブの拡張を行い、2022 年との比較で 2,300 席を追加しました。来年もさらに増加する予定です。

#### 環境、社会、およびガバナンス

- アメリア・デルーカ (Amelia DeLuca) を最高サステナビリティ責任者 (CSO) に任命しました。2050 年までに温室ガス排出量を実質ゼロにし、よりサステナブルでプレミアムな旅行体験を提供できるようにリーダーシップを発揮します。
- バンク・オブ・アメリカ、エコラブ (Ecolab)、エクセル・エナジー (Xcel Energy) と共にミネソタ SAF ハブを設立しました。ミネソタ SAF ハブは再生航空燃料 (SAF) の大量確保のための初の連合です。
- マサチューセッツ工科大学が率いる ZIAA (Zero Impact Aviation Alliance) に創設メンバーとして参加しました。ZIAA は SAF 分野における実験やプロトタイプ作成を目的としています。
- デルタ航空 CEO による対談番組「Gaining Altitude」シリーズでは、Federal Reserve Bank of Atlanta の社長兼最高経営責任者、ラファエル・ボスティック (Raphael Bostic) 氏が、迅速で透明性の高いリーダーシップ、インクルーシブエコノミーの確立、制度的障壁の克服について語りました。
- デルタ航空の渉外チームは Congressional Black Caucus Foundation の第 52 回年次立法議会 (Annual Legislative Conference) において重要な協議を主導し、全世界の黒人社会に影響を及ぼす問題に関して、政策や法律への取り組みをリードしました。
- デルタ航空が毎年行っている女性のみで運航する WING Flight ("Women Inspiring our Next Generation") を実施しました。WING Flight では、パネルディスカッションや宇宙関係のインタラクティブな展示物のツアーに参加する 130 人以上の若い女性をアトランタから NASA のケネディー宇宙センターまで運びました。

<sup>1</sup>2023 年 7 月 1 日～9 月 30 日までのデルタ航空フライトシステム全体での FlightStats 予備データ対象データセット (AA、UA、B6、AS、WN、DL) との比較結果に基づく。定時発着は A0 と定義される。

## 2023年第3四半期（7～9月期）の業績

第3四半期の業績は主としてサードパーティの精油所売上、投資含み損、注Aに記載された理由により調整されています。

(株式データを除き単位は百万ドル)	GAAP			
	2023年第3四半期	2022年第3四半期	\$増減	%増減
営業利益	1,984	1,456	528	36 %
営業利益率	12.8 %	10.4 %	2.4 pts	23 %
税引前利益	1,521	962	559	58 %
税引前利益率	9.8 %	6.9 %	2.9 pts	42 %
純利益	1,108	695	413	59 %
1株当たり希釈利益	1.72	1.08	0.64	59 %
営業収益	15,488	13,975	1,513	11 %
有効座席マイル当たりの売上合計 (TRASM) (セント)	21.15	22.18	(1.03)	(5)%
営業経費	13,504	12,519	985	8 %
有効座席マイル当たりのコスト (CASM) (セント)	18.44	19.87	(1.43)	(7)%
燃料費	2,936	3,318	(382)	(12)%
1ガロン当たりの平均燃料価格	2.76	3.57	(0.81)	(23)%
営業キャッシュフロー	1,076	869	207	24 %
資本支出	1,269	1,442	(173)	(12)%
負債とファイナンスリースの債務合計	19,513	23,233	(3,720)	(16)%

(株式データを除き単位は百万ドル)	調整済み			
	2023年第3四半期	2022年第3四半期	\$増減	%増減
営業利益	1,963	1,492	471	32 %
営業利益率	13.5 %	11.6 %	1.9 pts	16 %
税引前利益	1,719	1,276	443	35 %
税引前利益率	11.8 %	9.9 %	1.9 pts	19 %
純利益	1,308	966	342	35 %
1株当たり希釈利益	2.03	1.51	0.52	35 %
営業収益	14,553	12,840	1,713	13 %
TRASM (セント)	19.87	20.38	(0.51)	(2.5)%
営業経費	12,590	11,348	1,242	11 %
燃料以外の費用	9,216	7,829	1,387	18 %
燃料以外の単位コスト (CASM-Ex) (セント)	12.59	12.43	0.16	1.3 %
燃料費	2,957	3,282	(325)	(10)%
1ガロン当たりの平均燃料価格	2.78	3.53	(0.75)	(21)%
営業キャッシュフロー	1,127	776	351	45 %
フリーキャッシュフロー	(250)	(679)	429	63 %
資本支出合計	1,442	1,467	(25)	(2)%
調整済み純負債	20,155	20,541	(386)	(2)%

## デルタ航空について

デルタ航空（NYSE: DAL）は心のこもった温かみのあるサービスとイノベーションの力で、お客様一人ひとりに合った旅の形を追求しています。毎日 4,000 便以上のデルタ航空便が 6 つの大陸、280 都市以上の人々をつなぎ、デルタ航空の 10 万人以上の社員が世界トップクラスの顧客エクスペリエンスを提供しています。

デルタ航空は毎年 2 億人以上のお客様に安全で信頼性の高いサービスを提供しており、業界をリードする優れたカスタマーエクスペリエンス、イノベーションを誇っています。デルタ航空は[北米で最も定時運航率の高い航空会社として認められています](#)。デルタ航空は、お客様が望む路線を提供し、一人ひとりに合わせた楽しい旅を実現することに尽力しています。そして旅のあらゆる場面ですべてのお客様を温かくもてなし、大切に接すること、それが私たちデルタ航空の揺るぎない信念です。

アトランタに本拠地を置くデルタ航空はアムステルダム、アトランタ、ボストン、デトロイト、ロンドン（ヒースロー）、ロサンゼルス、メキシコシティ、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク（JFK およびラガーディア）、パリ（シャルルドゴール）、ソルトレイクシティ、シアトル、ソウル（インチョン）、東京を主要なハブ空港/市場として運航しています。

世界をリードする航空会社として、デルタ航空は世界中の人々やコミュニティ、潜在能力をつなぐことで機会創出、理解促進、可能性拡大を目指しています。

アエロメヒコ航空、エールフランス-KLM、中国東方航空、大韓航空、ラタム航空、ヴァージン アトランティック、ウェストジェットとの画期的で戦略的なパートナーシップにより、デルタ航空は世界中のお客様に、より多くの優れた選択肢を提供しています。デルタ航空のプレミアムプロダクトは Wheels Up Experience とのユニークなパートナーシップによってレベルアップしています。

プロフェッショナルで熱心な社員に恵まれたデルタ航空は米国で最も受賞歴の多い航空会社です。シリウム社には優れた運航実績が評価され、ウォールストリートジャーナル紙には米国で最も優れた航空会社として認められています。ファストカンパニー社には最も革新的な企業の 1 つとして選ばれ、フォーチュン誌には世界で最も賞賛される企業と評価され、グラスドアの最も働きやすい職場の 1 つにも選ばれています。フォーブス誌には多様性に配慮した雇用、退役軍人の雇用、女性に最適な職場などによりトップ企業と評価されています。

## 将来予想に関する記述

弊社の将来的な推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略など、歴史的な事実ではないこのプレスリリースにおける記述は、1993 年の証券法とその改定版、1934 年の証券取引法とその改定版、1995 年私募証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」と見なす必要があります。この種の記述内容は保証されておらず、成果を約束するものではありません。すべての将来予想に関する記述には複数のリスクと不確定要素が関連しており、将来予測に関する記述で反映または示唆された推定値、期待値、信条、意図、予測、目標、願望、コミットメント、戦略と大きく異なる場合があります。実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる危険性および不確実性には、COVID-19 パンデミックへの対応のための多額の負債、弊社の融資契約における財務その他の条項の違反、弊社または弊社のパートナー企業の航空機が関与する事故によって発生する可能性のある影響、弊社が依存している技術システムとそこに保存されているデータのセキュリティ侵害または不備、常に進化する全世界のプライバシーおよびセキュリティ規制へのコンプライアンス不足、あるいはプライバシー問題やデータセキュリティに関して高まる顧客の懸念への対応不足、弊社の情報技術インフラストラクチャの中断、弊社の運営上の技術依存度、他国の航空会社とのビジネス上の関係および当該企業への投資、弊社が依存している第三者の業務上または経営上の深刻な中断による影響、無形資産または長期資産を完全に活用できない状況、労働問題、悪天候、自然災害、気候変動による影響によるものを含むその他の環境事象など、季節性やその他制御不能な要因が弊社事業に及ぼす影響、航空機燃料費の変動、航空燃料の長期的な供給停止（デルタ航空の完全子会社である Monroe Energy, LLC（「モンロー」）からの供給を含む）、モンローレイナー精油所での大規模な損害賠償に対する保険適用能力の欠如、再生可能燃料標準規制遵守に関連するコストなど、モンロー精油所が既存および将来的な環境規制に違反したことによる影響、企業としての評判やブランドが大きく棄損される行為（大規模な非難や中傷のリスクや特定の持続性目標達成失敗など）、弊社の経営陣およびその他主要な社員および企業カルチャーを維持する能力、COVID-19 パンデミックや類似の公共衛生を脅かすような病気の発生とその対策、テロ攻撃や地域紛争、セキュリティ事象による影響、航空産業における競争状態、弊社が就航している主要空港におけるサービスの長期的な中断または混乱、運用している航空機やエンジンの種類に関連する深刻な問題、弊社事業に対する大幅な行政規制の影響、弊社事業に対する環境規制厳格化（二酸化炭素排出量規制の強化、気象変動関連の他のリスク、環境規制厳格化へのコンプライアンスに伴うコストなど）による影響、弊社が事業を展開している市場の経済状況または政情悪化、外国為替レートの変動がありますが、これらに限定されません。

実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる、危険性および不確実性に関する追加情報については、2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日会計年度の Form 10-K に記載された弊社の年次報告など、弊社の米国証券取引委員会関連ファイルに記載されています。なお弊社の将来予測に関する記述は本プレスリリース発行日現在の弊社の観点を示すもので、現時点では法律で定められた場合を除き、更新の意図がないため、過度に依存することのないようご注意ください。

**デルタ航空**  
**連結損益計算書**  
**(未監査)**

(株式データを除き単位は百万ドル)	9月30日までの 3ヶ月間				9月30日までの 9ヶ月間			
	2023年	2022年	\$増減	%増減	2023年	2022年	\$増減	%増減
	<b>営業収益：</b>							
旅客	\$ 13,119	\$ 11,464	\$ 1,655	14 %	\$ 36,735	\$ 29,329	\$ 7,406	25 %
貨物	154	240	(86)	(36)%	535	801	(266)	(33)%
その他	2,215	2,271	(56)	(2)%	6,555	7,017	(462)	(7)%
営業収益合計	15,488	13,975	1,513	11 %	43,825	37,147	6,678	18 %
<b>営業経費：</b>								
給与および関連コスト	3,760	3,050	710	23 %	10,838	8,832	2,006	23 %
航空機用燃料と関連税	2,936	3,318	(382)	(12)%	8,128	8,633	(505)	(6)%
付属事業と精油所	1,128	1,349	(221)	(16)%	3,427	4,449	(1,022)	(23)%
委託サービス	1,004	881	123	14 %	3,009	2,425	584	24 %
着陸料およびその他賃料	679	562	117	21 %	1,880	1,611	269	17 %
航空機メンテナンス材料および外部修理	661	487	174	36 %	1,860	1,474	386	26 %
旅客コミッションおよびその他販売経費	618	546	72	13 %	1,770	1,385	385	28 %
減価償却	594	538	56	10 %	1,731	1,554	177	11 %
地方路線キャリア費用	546	528	18	3 %	1,664	1,547	117	8 %
旅客サービス	449	406	43	11 %	1,307	1,050	257	24 %
プロフィットシェアリング	417	237	180	76 %	1,084	291	793	NM
パイロット契約と関連する費用	—	—	—	— %	864	—	864	NM
航空機賃料	131	131	—	— %	395	380	15	4 %
その他	581	486	95	20 %	1,669	1,325	344	26 %
営業経費合計	13,504	12,519	985	8 %	39,626	34,956	4,670	13 %
<b>営業利益</b>	<b>1,984</b>	<b>1,456</b>	<b>528</b>	<b>36 %</b>	<b>4,199</b>	<b>2,191</b>	<b>2,008</b>	<b>92 %</b>
<b>営業外経費：</b>								
支払い利子、正味	(196)	(248)	52	(21)%	(627)	(791)	164	(21)%
投資による利益（損失）、正味	(206)	(245)	39	(16)%	45	(613)	658	NM
負債償還による損失	(13)	(34)	21	(62)%	(63)	(100)	37	(37)%
年金関連（費用）/福利厚生	(61)	73	(134)	NM	(183)	218	(401)	NM
雑勘定、正味	13	(40)	53	NM	(38)	(111)	73	(66)%
営業外経費合計、正味	(463)	(494)	31	(6)%	(866)	(1,397)	531	(38)%
<b>所得税引前利益</b>	<b>1,521</b>	<b>962</b>	<b>559</b>	<b>58 %</b>	<b>3,333</b>	<b>794</b>	<b>2,539</b>	<b>NM</b>
<b>所得税引当</b>	<b>(413)</b>	<b>(267)</b>	<b>(146)</b>	<b>55 %</b>	<b>(761)</b>	<b>(305)</b>	<b>(456)</b>	<b>NM</b>
<b>純利益</b>	<b>\$ 1,108</b>	<b>\$ 695</b>	<b>\$ 413</b>	<b>59 %</b>	<b>\$ 2,572</b>	<b>\$ 489</b>	<b>\$ 2,083</b>	<b>NM</b>
<b>1株当たり基本利益</b>	<b>\$ 1.73</b>	<b>\$ 1.09</b>			<b>\$ 4.03</b>	<b>\$ 0.77</b>		
<b>1株当たり希釈利益</b>	<b>\$ 1.72</b>	<b>\$ 1.08</b>			<b>\$ 4.00</b>	<b>\$ 0.76</b>		
<b>株式発行高基本加重平均</b>	<b>639</b>	<b>638</b>			<b>639</b>	<b>638</b>		
<b>株式発行高希釈加重平均</b>	<b>644</b>	<b>641</b>			<b>643</b>	<b>641</b>		

デルタ航空  
旅客収益  
(未監査)

(単位：百万ドル)	9月30日までの 3ヶ月間				9月30日までの 9ヶ月間			
	2023年	2022年	\$増減	%増減	2023年	2022年	\$増減	%増減
	チケット - メインキャビン	\$ 6,620	\$ 5,893	\$ 727	12 %	\$ 18,538	\$ 15,000	\$ 3,538
チケット - プレミアムプロダクト	5,113	4,354	759	17 %	14,263	11,005	3,258	30 %
ロイヤルティトラベルアワード	902	786	116	15 %	2,547	2,073	474	23 %
旅行関連サービス	484	431	53	12 %	1,387	1,251	136	11 %
<b>旅客収益</b>	<b>\$ 13,119</b>	<b>\$ 11,464</b>	<b>\$ 1,655</b>	<b>14 %</b>	<b>\$ 36,735</b>	<b>\$ 29,329</b>	<b>\$ 7,406</b>	<b>25 %</b>

デルタ航空  
その他収益  
(未監査)

(単位：百万ドル)	9月30日までの 3ヶ月間				9月30日までの 9ヶ月間			
	2023年	2022年	\$増減	%増減	2023年	2022年	\$増減	%増減
	精油所	\$ 935	\$ 1,134	\$ (199)	(18)%	\$ 2,817	\$ 3,835	\$ (1,018)
ロイヤルティプログラム	791	655	136	21 %	2,291	1,877	414	22 %
付属事業	212	249	(37)	(15)%	657	665	(8)	(1)%
雑勘定	277	233	44	19 %	790	640	150	23 %
<b>その他収益</b>	<b>\$ 2,215</b>	<b>\$ 2,271</b>	<b>\$ (56)</b>	<b>(2)%</b>	<b>\$ 6,555</b>	<b>\$ 7,017</b>	<b>\$ (462)</b>	<b>(7)%</b>

デルタ航空  
収益合計  
(未監査)

収益	2023年 第3四半期 (百万ドル)	増(減) 2023年第3四半期と2022年第3四半期の比較			
		増減	単位収益	イールド	輸送容量
		米国内線	\$ 8,662	6%	(4)%
大西洋路線	3,110	34%	10%	9%	22%
中南米路線	788	20%	—%	(3)%	19%
太平洋路線	559	65%	(3)%	2%	70%
<b>旅客収益</b>	<b>\$ 13,119</b>	<b>14%</b>	<b>(1)%</b>	<b>(2)%</b>	<b>16%</b>
<b>貨物収益</b>	<b>154</b>	<b>(36)%</b>			
<b>その他収益</b>	<b>2,215</b>	<b>(2)%</b>			
<b>収益合計</b>	<b>\$ 15,488</b>	<b>11%</b>	<b>(5)%</b>		
サードパーティへの精油所売上	(935)				
<b>収益合計、調整済み</b>	<b>\$ 14,553</b>	<b>13%</b>	<b>(2.5)%</b>		



**デルタ航空**  
**統計サマリー**  
**(未監査)**

	9月30日までの 3ヶ月間			9月30日までの 9ヶ月間		
	2023年	2022年	増減	2023年	2022年	増減
旅客マイル売上 (百万)	64,095	54,786	17 %	174,586	145,004	20 %
有効座席マイル (百万)	73,226	63,007	16 %	203,571	173,720	17 %
旅客マイル利回り (セント)	20.47	20.93	(2) %	21.04	20.23	4 %
有効座席マイル当たりの旅客売上 (セント)	17.92	18.19	(1) %	18.05	16.88	7 %
有効座席マイル当たりの売上合計 (セント)	21.15	22.18	(5) %	21.53	21.38	1 %
調整済み TRASM - 注 A 参照 (セント)	19.87	20.38	(2.5) %	20.14	19.18	5 %
有効座席マイル当たりのコスト (セント)	18.44	19.87	(7) %	19.47	20.12	(3) %
CASM-Ex - 注 A 参照 (セント)	12.59	12.43	1.3 %	13.13	12.78	3 %
搭乗率	88 %	87 %	1 pt	86 %	83 %	3 s
消費燃料 (百万ガロン)	1,062	930	14 %	2,947	2,543	16 %
1 ガロン当たりの平均燃料価格	\$ 2.76	\$ 3.57	(23) %	\$ 2.76	\$ 3.39	(19) %
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 2.78	\$ 3.53	(21) %	\$ 2.78	\$ 3.41	(18) %

**デルタ航空**  
**連結キャッシュフロー計算書**  
**(未監査)**

9月30日までの  
3ヶ月間

(単位：百万ドル)

	2023年	2022年
<b>営業活動によるキャッシュフロー：</b>		
純利益	\$ 1,108	\$ 695
減価償却	594	538
エアートラフィックライアビリティの変更分	(1,683)	(817)
プロフィットシェアリングの変更分	417	237
バランスシートその他の変更、正味	640	216
<b>営業活動によるキャッシュフロー、正味</b>	<b>1,076</b>	<b>869</b>
<b>投資活動によるキャッシュフロー：</b>		
不動産と機材の追加：		
前払い金を含む航空機材	(856)	(973)
不動産および技術を含む装置	(413)	(469)
短期投資の購入	(300)	(101)
短期投資の償還	1,527	295
戦略的投資の取得	(152)	—
その他、正味	63	(40)
<b>投資活動に使用したキャッシュフロー、正味</b>	<b>(131)</b>	<b>(1,288)</b>
<b>財務活動によるキャッシュフロー：</b>		
配当金	(64)	—
負債とファイナンスリースの債務返済	(724)	(1,795)
その他、正味	(12)	(13)
<b>財務活動に使用したキャッシュフロー（正味）</b>	<b>(800)</b>	<b>(1,808)</b>
<b>現金と現金同等物、制限付き預金の増加／（減少）（正味）</b>	<b>145</b>	<b>(2,227)</b>
期首時の現金および現金同等物、制限付き預金	2,824	9,552
期末時の現金および現金同等物、制限付き預金	<b>\$ 2,969</b>	<b>\$ 7,325</b>

以下の表は、連結バランスシートに記載した現金、現金同等物、制限付き預金を、上記に記載した各合計金額と照合したものです。

<b>流動資産：</b>		
現金等価額	\$ 2,835	\$ 7,023
前払い費用その他に含まれている制限付き預金	134	149
<b>その他の資産：</b>		
他の非流動資産に含まれている制限付き預金	—	153
現金、現金同等物、および制限付き預金合計	<b>\$ 2,969</b>	<b>\$ 7,325</b>

**デルタ航空**  
**連結バランスシート**  
**(未監査)**

(単位：百万ドル)	2023年 9月30日	2022年 12月31日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産：</b>		
現金等価額	\$ 2,835	\$ 3,266
短期投資	2,170	3,268
売掛金、正味	3,214	3,176
燃料在庫、拡張可能部品および備品在庫、正味	1,507	1,424
前払い費用とその他の項目	2,529	1,877
流動資産合計	<u>12,255</u>	<u>13,011</u>
<b>不動産と機材、正味：</b>		
不動産と機材、正味	<u>34,593</u>	<u>33,109</u>
<b>その他の資産：</b>		
オペレーティングリースの使用権資産	6,962	7,036
営業権	9,753	9,753
識別可能な無形資産、正味	5,985	5,992
株式投資	2,291	2,128
その他の固定資産	1,408	1,259
その他の資産合計	<u>26,399</u>	<u>26,168</u>
資産合計	<u>\$ 73,247</u>	<u>\$ 72,288</u>
<b>負債および資本の部</b>		
<b>流動負債：</b>		
負債とファイナンスリース返済	\$ 1,981	\$ 2,359
オペレーティングリースの当期満期分	728	714
エアートラフィックライアビリティ	8,738	8,160
買掛金	5,320	5,106
未払い給与と関連する福利厚生	4,003	3,288
ロイヤルティプログラム繰延収益	3,917	3,434
給油カード債務	1,100	1,100
その他の未払い負債	1,769	1,779
流動負債合計	<u>27,556</u>	<u>25,940</u>
<b>非流動負債：</b>		
負債およびファイナンスリース	17,532	20,671
年金、退職後、および関連する福利厚生	3,618	3,707
ロイヤルティプログラム繰延収益	4,456	4,448
当期満期分以外のオペレーティングリース	6,558	6,866
その他の非流動負債	4,301	4,074
非流動負債合計	<u>36,465</u>	<u>39,766</u>
<b>コミットメントと有事への対応</b>		
<b>自己資本：</b>		
負債および資本合計	<u>\$ 73,247</u>	<u>\$ 72,288</u>

**注 A：GAAP に基づかない財務措置の調整内容を下表に示します。また、デルタ航空がそのような措置を講じる理由について、以下に説明します。丸め処理によって計算結果が一致しないことがあります。**

デルタ航空では「連結財務諸表」から派生する情報（GAAP に基づかない財務措置）を利用する場合がありますが、それは米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に従って提示されていません。証券取引委員会の規定に基づき、GAAP に基づかない財務措置は、GAAP に従って準備された結果とともに考慮すべきですが、GAAP の結果に代わるもの、あるいはそれよりも優れたものとして考えるべきではありません。本書で使用している GAAP に基づかない財務措置を、最も類似する GAAP 財務措置と比較した調整内容を下表に示します。

**将来予測：**以下を含む調整項目は期末まで不明で多額な場合があるため、デルタ航空では GAAP に基づかない財務措置による将来的な調整を容易に行うことができません。

**調整：**この種の調整には GAAP 指標に対する特定の調整を含んでいます。該当する場合、こうした調整は以下のような理由で対象となる期間の比較を容易にするために行っています。

サードパーティの精油所売上：サードパーティの精油所売上と関連費用は航空セグメントとは無関係です。したがってこうした売上を除くことは、デルタ航空の航空事業による売上を航空業界の他社と比較する上で有意義なものになります。

ヘッジの MTM 調整および支払額：評価替え（「MTM」）調整額とは、決算期以外の期間に記録された評価額の変化を指します。こうした評価額の変化は、必ずしも約定取引期間内の基礎となるヘッジの実際の支払額を示すものではありません。したがってこうした影響を排除することで投資家の皆様が弊社の主要な業績を理解・分析しやすくなります。支払額とは該当する期間中にヘッジ契約に対して受領または支払った現金を指します。

負債の償却による損失：この調整は負債の早期償還に関連するものです。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の損失を調整しています。

投資の MTM 調整：株式投資による未実現損益の評価額を営業外費用に計上しています。損益は株式の価格、外国為替の変動、特定企業（特に株式未公開の企業）への投資についてはその他の評価方法によっても変動します。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の利益／損失調整を行っています。

再編費用：2020 年中は機材の減損処理や COVID-19 パンデミックに伴う戦略的なビジネス上の意思決定による希望早期退職および定年退職といった項目で再編費用を計上しました。2022 年中に当該再編費用の一部に対して調整を行ったため、計上費用の変更を行いました。

#### 調整済み営業収益、および調整済み有効座席マイル当たりの収益（TRASM）

(単位：百万ドル)	2023 年 9 月 30 日			2022 年 9 月 30 日		2023 年第 3 四半期と 2022 年第 3 四半期の比較 %増減
	までの 3 ヶ月間	2022 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2022 年 9 月 30 日 までの 3 ヶ月間			
営業収益	\$ 15,488	\$ 13,435	\$ 13,975			
以下調整済み：						
サードパーティへの精油所売上	(935)	(1,142)	(1,134)			
調整済み営業収益	\$ 14,553	\$ 12,292	\$ 12,840			13 %

	2023 年 9 月 30 日			2022 年 9 月 30 日		% 増減
	までの 3 ヶ月間	2022 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2022 年 9 月 30 日 までの 3 ヶ月間			
TRASM (セント)	21.15	22.58	22.18			
以下調整済み：						
サードパーティへの精油所売上	(1.28)	(1.92)	(1.80)			
調整済み TRASM	19.87	20.66	20.38			(2.5)%

	2023 年 9 月 30 日		2022 年 9 月 30 日	
	までの 9 ヶ月間	までの 9 ヶ月間	までの 9 ヶ月間	までの 9 ヶ月間
TRASM (セント)	21.53	21.38	21.38	21.38
以下調整済み：				
サードパーティへの精油所売上	(1.38)	(2.20)	(2.20)	(2.20)
調整済み TRASM	20.14	19.18	19.18	19.18

2022年12月31日  
までの1年間

(単位：百万ドル)

営業収益	\$	50,582
以下調整済み：		
サードパーティへの精油所売上		(4,977)
調整済み営業収益	\$	45,605

税引前利益、純利益、および1株当たり希釈利益、調整済み

	2023年9月30日 までの3ヶ月間			2023年9月30日 までの3ヶ月間
	税引前 利益	所得税	純益	利益 希釈後、1株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 1,521	\$ (413)	\$ 1,108	\$ 1.72
以下調整済み：				
ヘッジのMTM調整および支払額	(21)			
負債償還による損失	13			
投資のMTM調整	206			
GAAPに基づかない	\$ 1,719	\$ (411)	\$ 1,308	\$ 2.03

	2022年9月30日 までの3ヶ月間			2022年9月30日 までの3ヶ月間
	税引前 利益	所得税	純益	利益 希釈後、1株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 962	\$ (267)	\$ 695	\$ 1.08
以下調整済み：				
ヘッジのMTM調整および支払額	36			
負債償還による損失	34			
投資のMTM調整	245			
再編費用	1			
GAAPに基づかない	\$ 1,276	\$ (311)	\$ 966	\$ 1.51

	2022年12月31日 までの1年間			2022年12月31日 までの1年間
	税引前 利益	所得税	純益	利益 希釈後、1株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 1,914	\$ (596)	\$ 1,318	\$ 2.06
以下調整済み：				
ヘッジのMTM調整および支払額	29			
負債償還による損失	100			
投資のMTM調整	784			
再編費用	(124)			
GAAPに基づかない	\$ 2,703	\$ (650)	\$ 2,053	\$ 3.20

## 調整済み営業利益率

	2023年9月30日 までの3ヶ月間	2022年9月30日 までの3ヶ月間
営業利益率	12.8 %	10.4 %
以下調整済み：		
ヘッジのMTM 調整および支払額	(0.1)	0.3
サードパーティへの精油所売上	0.8	0.9
調整済み営業利益率	13.5 %	11.6 %

## 調整済み営業利益

(単位：百万ドル)	2023年9月30日 までの3ヶ月間	2022年9月30日 までの3ヶ月間
営業利益	\$ 1,984	\$ 1,456
以下調整済み：		
ヘッジのMTM 調整および支払額	(21)	36
再編費用	—	1
調整済み営業利益	\$ 1,963	\$ 1,492

## 税引前利益率、調整済み：

	2023年9月30日 までの3ヶ月間	2022年9月30日 までの3ヶ月間
税引前利益率	9.8 %	6.9 %
以下調整済み：		
サードパーティへの精油所売上	0.7	0.8
ヘッジのMTM 調整および支払額	(0.1)	0.3
負債償還による損失	0.1	0.2
投資のMTM 調整	1.3	1.8
税引前利益率、調整済み	11.8 %	9.9 %

**営業キャッシュフロー、調整済み：** 経営陣はこの種の調整を行うことが投資家の皆様にとって有効な判断材料になると考えているため、デルタ航空は調整済み営業キャッシュフローを明らかにしています。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー： 特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAPの営業活動に含んでいません。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空の営業キャッシュフローについて投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

(単位：百万ドル)	2023年9月30日 までの3ヶ月間	2022年9月30日 までの3ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 1,076	\$ 869
調整：		
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	51	(94)
営業活動による正味キャッシュフロー、調整済み	\$ 1,127	\$ 776

**調整済み純負債**：デルタ航空では金融債務の予測値を提示するために、調整済み負債やファイナンスリースに加え、航空機のレンタル料を含む、調整済み負債総額を採用しています。デルタ航空は調整済み負債合計総額から現金、現金相当物、短期投資、LGA 制限付き現金を減額しています。その結果、調整済み純負債は、負債負担に必要な資本額を示すこととなります。経営陣は同指標により、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと考えています。

(単位：百万ドル)				2023年 第3 四半期と 2022年 第4 四半期の比較
	2023年 9月 30日	2022年 12月 31日	2022年 9月 30日	増減
負債とファイナンスリースの債務	\$ 19,513	\$ 23,030	\$ 23,233	
および：売上-リースバック融資負債	1,900	2,180	2,194	
および：未償却割引／（プレミアム）および債券発行費用、正味、その他	83	138	151	
調整済み負債とファイナンスリースの債務	\$ 21,496	\$ 25,349	\$ 25,578	
および：7x 型の 12ヶ月間の航空機レンタル料	3,664	3,558	3,485	
調整済み負債総額	\$ 25,160	\$ 28,906	\$ 29,062	
現金、現金相当物、短期投資を除外	(5,005)	(6,603)	(8,521)	
調整済み純負債	\$ 20,155	\$ 22,303	\$ 20,541	\$ (2,148)

#### プレミアムプロダクトと多様な収益源に関する調整済みの営業収益

(単位：百万ドル)	2023年 9月 30日 までの 9ヶ月間	
営業収益	\$	43,825
以下調整済み：		
サードパーティへの精油所売上		(2,817)
調整済み営業収益	\$	41,009
メインキャビンの収益を除外		(18,538)
プレミアムプロダクトと多様な収益源に関する調整済みの営業収益	\$	22,471
プレミアムプロダクトと多様な収益源に関する調整済みの営業収益率		55 %

## 燃料以外の調整済み費用と燃料以外の単位費用または有効座席マイル当たりの費用 ("CASM-Ex")

以下に示す理由により、上記および以下に記載する項目について営業経費と CASM を調整しています。

航空機用燃料と関連税：燃料価格の変動性は、前年比の財務実績の比較可能性に影響を及ぼします。燃料費や関連税の調整によって、投資家は燃料以外のコストと前年比の財務実績を理解し、分析することができます。

プロフィットシェアリング：利益分配（プロフィットシェアリング）費用の調整によって、投資家の皆様が弊社の経常費用のコストパフォーマンスについて理解・分析しやすくなり、主要な経費を航空業界基準と有効に比較できるようになります。

パイロット契約に伴う一回限りの費用：2023 年第 1 四半期中にデルタ航空のパイロットは 2023 年 1 月 1 日から新たに有効な 4 年間のパイロット雇用契約を承認しました。この契約によって雇用条件が多数変更され、4 年間の昇給率が高くなりました。最初の昇給率は 18% です。この契約には 2023 年の第 1 四半期中の承認時に一時金として 7 億 3500 万ドルを支払うことも定められています。さらに他の福利厚生項目として約 1 億 3000 万ドル分の調整も計上しました。この種の費用の調整は、投資家の皆様が弊社の主要な業務実績を理解・分析するのに役立ちます。

(単位：百万ドル)	2023 年 9 月 30 日		2022 年 9 月 30 日	
	までの 3 ヶ月間		までの 3 ヶ月間	
営業経費	\$	13,504	\$	12,519
以下調整済み：				
サードパーティへの精油所売上		(935)		(1,134)
航空機用燃料と関連税		(2,936)		(3,318)
プロフィットシェアリング		(417)		(237)
再編費用		—		(1)
燃料以外の費用	\$	9,216	\$	7,829

	2023 年 9 月 30 日			2023 年第 3 四半期と 2022 年第 3 四半期の比較 増減%
	までの 3 ヶ月間	2022 年 12 月 31 日 までの 3 ヶ月間	2022 年 9 月 30 日 までの 3 ヶ月間	
CASM (単位：セント)	18.44	20.11	19.87	
以下調整済み：				
サードパーティの精油所売上	(1.28)	(1.92)	(1.80)	
航空機用燃料と関連税	(4.01)	(4.78)	(5.26)	
プロフィットシェアリング	(0.57)	(0.46)	(0.38)	
再編費用	—	0.20	—	
CASM-Ex	12.59	13.14	12.43	1.3 %

	2023 年 9 月 30 日		2022 年 9 月 30 日	
	までの 9 ヶ月間		までの 9 ヶ月間	
CASM (単位：セント)	19.47		20.12	
以下調整済み：				
サードパーティの精油所売上	(1.38)		(2.20)	
航空機用燃料と関連税	(4.00)		(4.97)	
プロフィットシェアリング	(0.53)		(0.17)	
パイロット契約の一回限りの費用	(0.42)		—	
CASM-Ex	13.13		12.78	



調整済み営業経費

(単位：百万ドル)	2023年9月30日 までの3ヶ月間		2022年9月30日 までの3ヶ月間	
営業経費	\$	13,504	\$	12,519
以下調整済み：				
ヘッジのMTM 調整および支払額		21		(36)
サードパーティの精油所売上		(935)		(1,134)
再編費用		—		(1)
調整済み営業経費	\$	12,590	\$	11,348

燃料費合計、1 ガロン当たりの調整済み平均燃料価格

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	9月30日 までの3ヶ月間		% 増減	1 ガロン当たりの平均燃料価格						
	2023年	2022年		9月30日 までの3ヶ月間	9月30日 までの3ヶ月間	% 増減				
				2023年	2022年					
燃料費合計	\$	2,936	\$	3,318	\$	2.76	\$	3.57		
以下調整済み：										
ヘッジのMTM 調整および支払額		21		(36)		0.02		(0.04)		
調整済み燃料費合計	\$	2,957	\$	3,282	(10)%	\$	2.78	\$	3.53	(21)%

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	9月30日 までの9ヶ月間		9月30日 までの9ヶ月間	
	2023年	2022年	2023年	2022年
	燃料費合計	\$	2.76	\$
以下調整済み：				
ヘッジのMTM 調整および支払額		0.02		0.02
調整済み燃料費合計	\$	2.78	\$	3.41

**支払金利、税金、減価償却、資産償却、賃料計上前利益（「EBITDAR」）に対する調整済み負債の比率、調整済み：** EBITDARに対する調整済み負債の提示により、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと考えています。調整済み負債には、LGA 債券とオペレーティングリース負債が含まれています。EBITDARは GAAP 営業利益に減価償却を追加し、オペレーティングリース費用の固定部分を調整することで算出しています。

(単位：十億ドル)	2023年9月30日		2022年12月31日	
負債とファイナンスリースの債務	\$	20	\$	23
および：オペレーティングリース負債		7		8
および：売上リースバック融資負債		2		2
調整済み負債	\$	29	\$	33

(単位：十億ドル)	2023年9月30日 までの1年間		2022年12月31日 までの1年間	
GAAPに基づく営業利益	\$	6	\$	4
以下調整済み：				
パイロット契約の一回限りの費用		1		—
調整済み営業利益		7		4
以下調整済み：				
減価償却		2		2
オペレーティングリース費用の固定部分		1		1
EBITDAR	\$	10	\$	7

EBITDARに対する調整済み負債の比率 3.0倍 5.0倍

**資本支出合計：** 資本支出合計を特定するため、以下に記載した理由で以下の項目の資本支出を調整しています。

航空機取得のための資金調達： 資本支出としてリースで取得している航空機の納品を反映するために資本支出を調整しています。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー： 特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローが資本支出に含まれています。これら空港建設プロジェクトの資本支出の一部は当該プロジェクトに限定された現金、またはサードパーティによる補填分でまかなっていることを投資家の皆様にお伝えすべきだと経営陣が判断したため、こうした項目を調整しています。

(単位：百万ドル)	2023年9月30日 までの3ヶ月間		2022年9月30日 までの3ヶ月間	
前払い金を含む航空機材	\$	856	\$	973
不動産および技術を含む装置		413		469
以下調整済み：				
航空機取得のための資金調達		162		137
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー		11		(112)
資本支出合計	\$	1,442	\$	1,467

**フリーキャッシュフロー**：デルタ航空ではフリーキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、同指標によって、投資家の皆様が債務返済や全般的な企業活動に利用できる弊社の現金創出能力を評価しやすくなると考えているためです。フリーキャッシュフローは2023年のインセンティブ報酬プログラムの一部にも使用しています。フリーキャッシュフローとは営業活動と投資活動による正味現金に対して、(i) 短期投資の償還（正味）、(ii) 戦略的投資およびその関連、(iii) 特定の空港建設プロジェクトおよびその他、(iv) 融資による航空機獲得に関連する調整を行ったものです。この種の調整は以下の理由で行っています。

短期投資の償還（正味）：短期投資の償還（正味）は、収益と損失を含む当期間中の投資および有価証券の正味購入・売却金額を表します。これに伴う調整により、投資家の皆様が営業活動で得たフリーキャッシュフローの状況をより良く理解できると考えたからです。

戦略的投資および関連費用：他の航空会社および関連企業（第3四半期中はWheels Upを含む）への投資および関連する取引に関する特定のキャッシュフローはGAAPでは投資活動に含まれています。この活動については調整を行うことで、航空業界他社との有意義な比較が行えます。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAPの運転支出および資本支出に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空のフリーキャッシュフローと資本支出について投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

航空機取得のための資金調達：この調整は資本支出としてリースされている航空機の納入を反映したものです。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

(単位：百万ドル)	2023年9月30日	2022年9月30日
	までの3ヶ月間	までの3ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 1,076	\$ 869
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味	(131)	(1,288)
以下調整済み：		
短期投資の償還（正味）	(1,226)	(194)
戦略的投資および関連費用	152	53
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	40	18
航空機取得のための資金調達	(162)	(137)
フリーキャッシュフロー	\$ (250)	\$ (679)